

60 歳からの未来投資マップ

— 守りながら、5 年後の安心をつくるために —

はじめに | この PDF でできること

この「未来投資マップ」は、

- 投資に興味はあるが、何から始めればいいのかわからない
- 老後資金は減らしたくないが、預金だけでは不安
- 難しい専門知識はできるだけ避けたい

そんな **60 歳前後のセミシニアの方**に向けて作りました。

目的はひとつです。

「大きな失敗を避けながら、将来に備える判断軸」を持つこと

この PDF では、

AI が注目する成長分野・リスク別の資産配分・最初の一步を
できるだけシンプルに整理しています。

PART1 | AI が注目する「成長分野一覧」

AI が世界の人口・気候・技術・経済データを分析すると、
今後 5 年～10 年で需要が伸び続ける分野には共通点があります。


それは――

「人が生きるために不可欠」かつ「代替しにくい」こと。

成長分野マップ（セミシニア向け視点）


① 食料・農業テック

- 世界人口増加で需要が減らない
- 農業の自動化・効率化が進行
- 価格転嫁力がありインフレ耐性が高い

 キーワード：安定 × 長期

② 水・インフラ関連

- 水不足はすでに世界的課題
- 上下水道・水処理は公共投資が中心
- 景気後退期でも需要が落ちにくい

 キーワード：守り × 分散

③ 医療・長寿テック

- 高齢化は確定未来
- 医療・介護・バイオ技術は拡大必至
- 自分自身も恩恵を受ける分野

👉 キーワード：将来性 × 実感

④ AI・デジタル基盤

- 他分野を支える「裏方の成長役」
- 短期の値動きは大きい成長力が高い

👉 キーワード：成長 × 変動

PART2 | リスク別・資産配分の考え方（60 歳から版）

60 歳以降の投資で最も大切なのは、


「増やすこと」より「続けられること」です。

基本ルール

- 生活費・緊急資金は投資しない
- 一気に動かさない
- 値動きに耐えられる範囲で配分する

リスク別・資産配分イメージ（例）

資産タイプ	目安割合	役割
現金・預金	20～30%	生活防衛・安心感
債券・安定資産	20～30%	値動きの緩衝材
成長投資（AI 等）	20～30%	資産を伸ばす
食料・水・医療など	20%前後	安定成長・分散

 「全部を当てにいかない」ことが最大のリスク対策です。

PART3 | 最初の一步チェックリスト (表)


以下は、

今すぐ全部できなくて OK のチェックリストです。

✓ が 1 つでも付けば、立派なスタートです。

最初の一步チェックリスト

チェック項目	✓
自分の毎月の生活費を把握している	<input type="checkbox"/>
生活費 6 か月分の現金を確保している	<input type="checkbox"/>
投資に回してもよい金額を決めた	<input type="checkbox"/>
個別株ではなく ETF 中心で考えている	<input type="checkbox"/>
値動きがあっても慌てない覚悟がある	<input type="checkbox"/>
5 年単位で考える意識を持てている	<input type="checkbox"/>
わからない時は「動かない」選択を知っている	<input type="checkbox"/>

 ✓ が 2〜3 個でも十分です。

よくある不安への一言

- 「今から始めても遅くない？」
→ 遅いかどうかではなく、何もしない方がリスクです
- 「失敗したら怖い」
→ 一度に動かさなければ致命傷にはなりません
- 「知識がない」
→ 知識より“判断しない勇気”が大切な場面もあります



次のステップはこちら



STEP1

この記事・連載記事をもう一度読み直し、

「自分はどの分野が気になるか」を1つ選ぶ



STEP2

いきなり買わず、

仕組み（ETF・分散）を理解する



STEP3

「少額・分割・長期」を前提に、

最初の一步だけ踏み出す



最後に

このPDFは、

あなたを急がせるためのものではありません。

迷ったら、立ち止まっていい。

不安になったら、守っていい。

それでも――

未来に備える視点だけは、持っておく。

それが、**60歳からの“後悔しない投資”**です。